

授業科目 音韻障害II（器質）

【担当教員名】		対象学年	2	対象学科	言語
糟谷政代		開講時期	後期 b	必修・選択	必修
		単位数	1	時間数	15
【概要・一般目標：G10】 器質性構音障害の定義、発生機序、種類、特徴および治療法を理解する。特に口蓋裂言語および口腔領域における言語症状、検査診断、治療法について学習する。					
【学習目標・行動目標：SB0】 鼻咽腔閉鎖機能不全に関する疾患、言語症状、評価、診断、治療法についての知識を学習する。他科との連携、手術方法、発音補助装置と言語障害との関係について理解する。口腔領域における言語障害について理解する。器質性構音障害の症例に対する言語聴覚士の役割を認識する。					
回数	授業計画・学習の主題			SB0 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1 2 3 4 5 6 7 8	器質性構音障害の疾患と原因、 発語器官の形態と機能の検査法 口蓋裂の概要、口蓋裂言語の特徴 口蓋裂言語の検査法、評価 言語治療法（対症療法、長期系統的治療計画、術前術後の母親指導、言語管理） 粘膜下口蓋裂、先天性鼻咽腔閉鎖不全症の言語障害 口腔癌切除後の言語障害の検査法および留意点 試験				講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義
【使用図書】		＜書名＞		＜著者名＞	＜発行所＞
教科書 (必ず購入する書籍)		器質性構音障害 言語聴覚療法シリーズ 8		齋藤裕恵/編著	建帛社
					2,730円
参考書					
その他の資料					
【評価方法】 レポート 10 授業態度 10 試験 80			【履修上の留意点】		